

科目名	旅行業法と約款	科目分類	<input checked="" type="checkbox"/> 専門科目群 <input type="checkbox"/> 総合科目群	
			<input type="checkbox"/> 国際観光学科 <input checked="" type="checkbox"/> 必修 <input checked="" type="checkbox"/> 選択	
			<input type="checkbox"/> 学科 <input checked="" type="checkbox"/> 必修 <input type="checkbox"/> 選択	
英文表記	Tour Business Law & Articles of Contract	開講年次	<input checked="" type="checkbox"/> 1年 <input type="checkbox"/> 2年 <input type="checkbox"/> 3年 <input type="checkbox"/> 4年	
		開講期間	<input checked="" type="checkbox"/> 前期 <input type="checkbox"/> 後期 <input type="checkbox"/> 通年 <input type="checkbox"/> 集中	
ふりがな	みちはた ただよし	実務家教員担当科目	<input type="checkbox"/> 修得単位	2単位
担当者名	道端 忠孝	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 対面のみ <input type="checkbox"/> 遠隔のみ <input type="checkbox"/> 対面・遠隔併用	
授業のテーマ	旅行業法の目的である旅行者の保護のしくみ（登録制度、旅行業務取扱管理者制度、営業保証金制度など）を修得し、また、格安の料金の募集型企画旅行（旅行会社の営業所などで配布している、きれいな旅行パンフレットに掲載されている旅行）のしくみを理解し、旅行会社の旅程管理義務のほか、旅行日程等の変更時の旅程保証金の支払責任や死亡時などの特別補償責任などを修得し、さらにそれらの問題点を考えることができるようになる。			
到達目標	<p>この授業の単位を修得した場合、次のような知識・能力を修得できます。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1、旅行業務取扱管理者試験の受験対策としての旅行業法・標準旅行業約款の理解ができる。</li> <li>2、旅行業法の旅行者の保護のしくみ（登録制度、旅行業務取扱管理者制度、営業保証金制度など）が理解できる。</li> <li>3、募集型企画旅行などにおける申込・契約及びキャンセルなどの基本のほか、旅程管理義務・旅程保証・特別補償制度などが理解できる。</li> </ol>			
授業概要	<p>本講義では、旅行業務取扱管理者試験の出題科目である旅行業法と標準旅行業約款を対象とします。旅行業法は、根本的には、旅行者の保護を目的にしていますが、その保護のしくみ（登録制度、旅行業務取扱管理者制度、営業保証金制度など）を明らかにします。</p> <p>また、旅行業約款は旅行業者があらかじめ定める契約条項ですが、現在、標準旅行業約款が用いられていますので、その内容のうち、募集型企画旅行・受注型企画旅行・手配旅行などについて講義します。</p>			
授業計画				
第1回	旅行業法、標準旅行業約款、旅行業務取扱管理者試験の概要			
第2回	旅行業法の目的・体系、旅行業法の規制概要			
第3回	旅行業の定義			
第4回	旅行業の登録など			
第5回	営業保証金と弁済業務保証金分担金			
第6回	旅行業務取扱管理者			
第7回	契約・取引準則①（料金規制・旅行業約款規制・標識規制）			
第8回	契約・取引準則②（取引条件の説明と契約の規制・外務員規制・広告規制）			
第9回	契約・取引準則③（旅程管理規制・禁止行為・行政処分・罰則、旅行業協会）			
第10回	標準旅行業約款の概要			
第11回	募集型企画旅行契約①（申込・契約・キャンセル）			
第12回	募集型企画旅行契約②（旅程管理・旅程保証）			
第13回	募集型企画旅行契約③（特別補償）			
第14回	受注型企画旅行契約			
第15回	手配旅行契約・旅行相談契約			
第16回	定期試験			
授業時間外の学習	<ol style="list-style-type: none"> <li>1、授業開始前に教科書の該当箇所に必ず目を通してください。分からぬ用語は調べてノートにまとめておいてください。（1・5時間程度）</li> <li>2、授業開始前に復習をし、整理しておいてください。（1・5時間程度）</li> <li>3、日頃から新聞に目を通し、切り抜き又はメモをしておいてください。（0・5時間程度）</li> </ol>			

履修条件 受講のルール	・可能であれば、国内・総合旅行業管理者の受験入門も受講して下さい。 ・テキストを購入して予習・復習をし、ノート整理をしてください。また、適宜資料を配布しますが、事前に連絡なく欠席した学生には原則配布しませんので、友人同士でコピーしてください。
テキスト	国内旅行業務取扱管理者テキスト&問題集第2版 塚越公明 新星出版社 (2019)
参考文献・資料	『2021年版対策 旅行業務取扱管理者試験2旅行業法・約款 国内・総合受験対応標準テキスト』大原出版 ユーキャン旅行業務取扱管理者試験研究会『旅行業務取扱管理者速習レッスン国内総合』U-CAN、トラベル&コンダクターカレッジ『らくらく解ける総合旅行業務取扱管理者必勝問題集』オーム社。その他、必要に応じて講義時に紹介します。
成績評価の方法	【小テスト(30%)、定期試験(70%)】以上の項目を基にして総合的に判断します。 ・出席回数が規定に満たない場合及び授業料その他納入金等の全額を納めていない場合は、試験を受けることができません。 ・出席確認時に不在だった場合は原則としてその回は欠席とします。 ・授業中に無許可で退出した場合は欠席とします。 ・授業の理解および予習復習が十分であるか確認するため、授業中に何回か小テストを行います。
オフィスアワー	毎週火曜日・金曜日 14:30~16:30 ※これ以外の時間帯は必ず事前に予約してください。
成績評価基準	秀 (100~90点)、優 (89~80点)、良 (79~70点)、可 (69~60点)、不可 (59点以下)
実務経験及び実務を活かした授業内容	
学生へのメッセージ	実際に旅行する場合に、募集型企画旅行がどのように旅行パンフレットに掲載され、申し込みや契約がどのようになされ、旅行添乗員の動きなどをチェックしてみましょう。 また、国内旅行業務取扱管理者の資格を取得し、さらに総合旅行業務取扱管理者の資格を取得して、キャリアアップを図りましょう！